

東北海区沿岸水温予報(2001年)

海域	経過 (1~8月)	現況(8月下旬~ 9月上旬)	見通し (10~12月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	津軽暖流域の水温は概ねやや低めから平年並(8月に入り県中・南部のごく沿岸部ではやや低め傾向)。津軽暖流の東方への張り出しはやや強めから平年並。	143E以西の県北・中部海域(津軽暖流域)は概ね平年並だが、県南部毎潮は親潮系冷水の差し込みがみられ、やや低め傾向。沿岸定地水温は全般的にやや低め傾向。	水温は全般的に平年並~やや低め傾向で推移。津軽暖流の東方への張り出しは平年並。	9月上旬の対馬暖流域水温は表面がやや高めで、それ以深にははなはだ低め。対馬暖流の勢力としては平年並。県北・中部海域(津軽暖流域)は対馬暖流の現況から平年並~やや低めで推移。県南部毎潮は親潮系冷水の影響をうけ、やや低めで推移すると判断した。	太平洋沿岸の秋サケ漁は約62トンで前年の約9.9倍(9月上旬現在)。サバ類(八戸、まき網)は約7,896トンで前年の約9.3倍(9月上旬現在)。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水試発表)	1~3月までは、沿岸親潮の影響で県全域で低め~極めて低めで推移した。4月以降は親潮の張り出しは弱まったものの、局所的に冷水が点在する形となり、平年並~やや低めとなった。6月になると親潮の南下勢力が再び強勢に転じ、7月には本県沖合域に細く南に張り出し、さらに南下していた。8月以降は親潮が分断され、冷水域が残った。	100m深水温では依然として冷水域が停滞し、本県北部及び南部の20海里以内を除いて、平年よりやや低め~低め。特に、トケ崎沖合40海里、楢島沖合50海里付近で平年より6程度低め。表面においても平年並~やや低め。	10海里以内及び10~70海里ともに、表面・100m深で平年並~やや低め基調に推移する。	津軽暖流の下半島東方への張り出しが平年並であること。仙台管区気象台発表の3ヶ月予報によると、10~12月の気温は平年並で推移すること。親潮第1分枝に連なる冷水が50m深から底層まで鉛直的に幅広く分布していること。三陸沖暖水塊は、現在145°E以東の遙か沖合に位置し、予報期間中にはこの暖水の影響を受けないと考えたことから判断した。	県内主要6港における水揚げ状況(9月上旬現在):秋サケ(定置網)が久慈を中心に水揚げがみられ、年累計220トンで前年の8.4倍と好調。スルメイカ(釣り)が久慈・大船渡を中心に水揚げがみられ、年累計1,515トンで前年比40%と伸び悩んでいる。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水試発表)	1~3月は親潮第1分枝の南下により、表面・100m深とも平年より2~8低め。4月は沖合からの暖水波及により、沖合海域で表面・100m深とも平年より2~4高めとなったが、5~7月は再び親潮第1分枝の影響を受け、表面・100m深とも概ね2~5低め。8月は142°E以東の南部毎潮に黒潮系暖水が波及し、平年に比べて表面で2~3、100m深で2~6高めとなったが、他は3~8低め。	表面は20~21台の水に広く覆われ概ね平年並。先月まで見られた黒潮系暖水の影響が弱まった。100m深では5以下の親潮系冷水が142°10'~143°E付近を広く占め、平年より2~6低め。	表面は、概ね平年並に推移。100m深では低め~平年並で推移。	親潮系冷水が依然存在するが、今後100m深水温は昇温期にあたる。また、黒潮流の宮城県沿岸への影響が弱まりつつある。	8月のマイワシ豊漁(昨年比83倍)。金華山以北の定置網へのカツオ一本釣り用餌イワシ(特にカクチイワシ)不漁。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	1月:表層、下層とも単調に推移。2~3月:東経142°E線に沿って冷水が南下し、表層で0~2台と、極めて低め。4月:低め基調が持続し、前月より沿岸寄りに冷水が南下。黒潮系水の北上弱く、南部で低め~極めて低め。5月:黒潮系水の勢力が強まり、高め~極めて高め。6月:県北部毎潮に親潮系水の差し込みがみられるものの、黒潮勢は持続し、県中~南部で高め~極めて高め。7、8月:黒潮系水の北上は沖寄りとなり、親潮系水が南下し、沿岸部に冷水域が形成された。県南部毎潮ではやや高め~極めて高め。冷水域のみられた沿岸部では低め基調。	親潮系水が距岸30海里付近の下層中心に南下し、局所的にやや低め~低めとなった。黒潮系水は前月に引き続き、距岸50海里以東の沖合を北上。	距岸30海里以内は平年並み~やや低めで推移。	親潮系水の勢力は北位時期にあるが、勢力を持続。特に下層は低め~極めて低めとなっている。黒潮系水は沖寄りとなっており、今後も現状並みに推移すると見込まれる。	2~4月:平年値を大きく下回る冷水が南下。4月下旬以降、オキアミ漁場の形成がみられず、低調。5月中旬~下旬:曳釣によるカツオ漁場がいわき海域に形成。9月:まき網によるサバ漁場が福島県沿岸に形成された。
常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	1~3月:常磐南部に親潮系冷水が差し込み、鹿島灘には暖水舌が形成されていた。4月:黒潮は沖合域に存在し、沿岸域に黒潮系暖水が波及していた。黒潮の張り出しにより親潮系冷水は塩屋崎沖まで後退した。5月:黒潮は本県沖を北上し、黒潮系暖水に広く覆われていた。6月:黒潮は本県東方沖を北上し、黒潮系暖水に広く覆われていた。7月:黒潮は本県沖を北上し、黒潮系暖水が沿岸域に波及していた。8月:黒潮は南偏していたが、沖合から沿岸域に黒潮系暖水が波及していた。	黒潮はやや離岸しているが、沖合から暖水が波及している。また、常磐南部には親潮系冷水が差し込んでいる。	水温は常磐南部で「平年並~やや低め」、鹿島灘では「平年並~やや高め」で推移する。	近海の黒潮の北限位置がやや北偏している。鹿島灘沖では黒潮の離岸変動に伴って、暖水波及が継続している。また、常磐南部には親潮系冷水の差し込みがみられる。以上のことから水温は常磐南部では低め、鹿島灘では高め基調で推移すると考えられる。	7~9月:月間シラス水揚量が過去最高(2000トン)であった(7月船曳網)。メジマグリが大量に入網した(7~8月定置網)。イセエビ・ボタンエビが大量に入網している(9月~底引き網)。

各階級の水溫平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6 ~ +2.3	+2.5 ~ +3.9	4.0 ~ +5.9	+1.6 ~ +2.3	+2.5 ~ +3.9	+2.5 ~ +3.9
やや高い(20%)	+0.7 ~ +1.5	+1.0 ~ +2.4	1.5 ~ +3.9	+0.7 ~ +1.5	+1.0 ~ +2.4	+1.0 ~ +2.4
平年並み(40%)	+0.6 ~ -0.6	+0.9 ~ -0.9	1.4 ~ -1.4	+0.6 ~ -0.6	+0.9 ~ -0.9	+0.9 ~ -0.9
やや低い(20%)	-0.7 ~ -1.5	-1.0 ~ -2.4	1.5 ~ -3.9	-0.7 ~ -1.5	-1.0 ~ -2.4	-1.0 ~ -2.4
低い(7.5%)	-1.6 ~ -2.3	-2.5 ~ -3.9	4.0 ~ -5.9	-1.6 ~ -2.3	-2.5 ~ -3.9	-2.5 ~ -3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~